

大垣労働基準監督署発表

平成22年12月10日

担 当	署長	松宮 利光
	安全衛生課長	牧野 宏俊
	TEL	0584-78-5184
	FAX	0584-78-5186

「年末年始無災害運動 労働災害防止研修会」の開催について - 管内の死傷災害が2割増 -

大垣労働基準監督署(署長 松宮 利光)は、大垣労働基準協会(会長 小川 信也)との共催で、下記の日程で管内(大垣市、海津市、不破郡、養老郡、安八郡、揖斐郡)の事業者約200社に対して「平成22年度 年末年始無災害運動 労働災害防止研修会」を開催します。

年末年始無災害運動は、働く人たちが年末年始を無事故で過ごし、明るい新年を迎えることができるようにという趣旨で、中央労働災害防止協会が主唱し、昭和46年から行われ、今年で40回の節目を迎える厚生労働省が後援する運動です。

労働者の就労にかかる災害(以下、労働災害)は、長期的には減少しているものの、今なお全国で54万人が被災し、1000人を超える労働者の尊い命が失われています。特に本年は死亡者数が大幅に増加しており、11月7日現在で876人、前年同期に比べて105人、13.6%の増加となっています。

当署管内においても、11月末現在で、休業4日以上の死傷災害は、335人となり、前年同時期比で55人、19.6%増加し、死亡災害についても4人と、前年の3人を上回っています。

一方、健康面では、仕事や職業に関する強い不安、悩み、ストレスを感じる労働者が6割を超え、メンタル不調により休業を余儀なくされる方もすくなく発生しており、定期健康診断結果の有所見率の改善と合わせ、職場における心身両面にわたる健康確保対策も重要な課題となっています。

また、何かとあわただしい年末年始は、普段の作業や生活のリズムが変わりやすく、操業を停止しての大掃除や機械設備の保守点検、年始の機械設備の立ち上げ作業等、非定常作業が多くなる時期であり、災害防止について一層の配慮が必要となります。

こうした状況の下、各事業場においてリスクアセスメント(危険性・有害性等の調査とその結果に基づく措置の検討)の積極的な導入やメンタルヘルス対策の推進等、安全衛生活動の一層の推進が図られるよう本研修会を開催することとしたものです。

記

- 1 日 時...平成22年12月15日(水) 13時20分から16時まで
- 2 場 所...大垣市情報工房 5階 スィンクホール(大垣市小野4丁目35番地10)
- 3 内 容... 「年末年始無の無災害にむけて」

大垣労働基準監督署 安全衛生課長 牧野 宏俊

「事例から見たヒューマンエラーを考える」

労働安全衛生コンサルタント 山田 四郎

- 4 参加者...大垣労働基準監督署管内の事業者及び安全衛生担当者(約200名参加予定)

以上